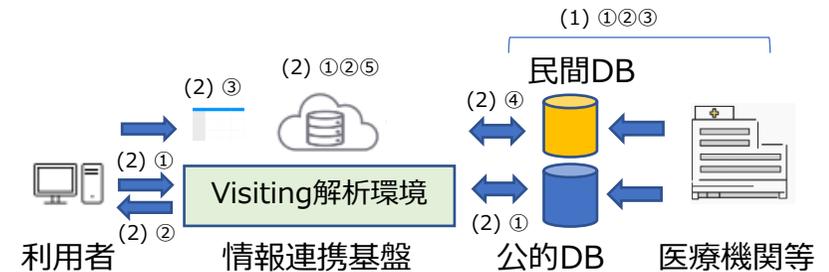


【検討項目（案）】

- (1) 医療等情報の二次利用におけるデータ連携及び標準化、信頼性確保に関する課題及び対応策（公的DB/民間DB両方）
 - ① 医療機関等におけるデータ入力、データ提出に関する課題及び対応策
 - ② 標準コードの管理と付与に関する課題及び対応策
 - ③ データマスター整備に関する課題及び対応策
- (2) 情報連携基盤に関する検討事項
 - ① 公的DB（仮名化・匿名化）等と情報連携基盤との接続、利活用者のVisiting環境等への接続等に関する技術的要件
※クラウド等インフラストラクチャー技術的要件も含む
 - ② 安全管理措置に関する要件
 - ③ 情報提供一覧表の整理
 - ④ 情報連携基盤の取扱いを可能とする民間DBに係る要件
 - ⑤ ダッシュボード機能等を備えたポータルのあるあり方



【議事】 公開（※セキュリティ関係は非公開とする。）

【メンバー】（※必要に応じて有識者等にヒアリング等を行う。）

「医療等情報の二次利用に関する技術作業班」構成員	※五十音順
一般社団法人医療データベース協会 ディレクター	足立 昌聰
一般社団法人日本医療情報学会 代表理事	小笠原 克彦
一般社団法人医療データ活用基盤整備機構 理事長	岡田 美保子
大阪公立大学医学研究科臨床検査・医療情報医学 講師	岡村 浩史
東京大学情報基盤センター 客員研究員	清水 央子
情報処理推進機構デジタル改革推進部 主任研究員	田辺 里美
独立行政法人医薬品医療機器総合機構 医療情報科学部長	山口 光峰

【今後の進め方】



医療等情報の二次利用に関する技術作業班の検討事項

データ連携の全体モデル

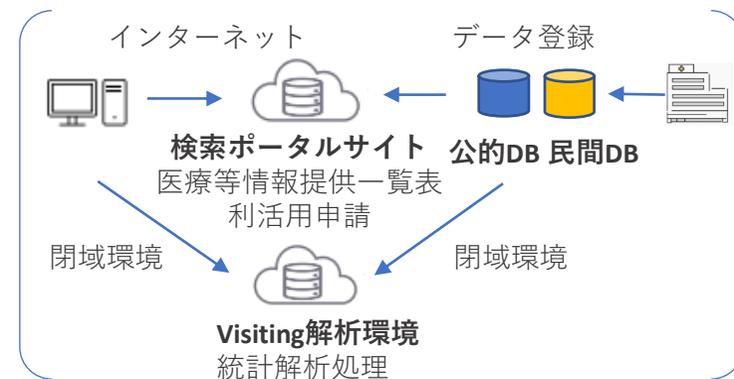
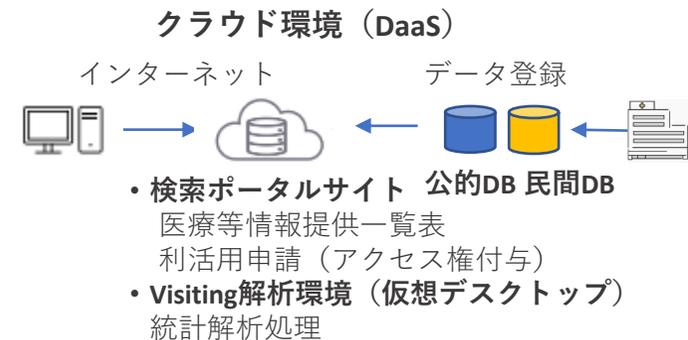
DB データ連携標準化

医療機関等 データ信頼性確保

情報連携基盤

- 技術的要件
- 接続要件
- クラウド等インフラストラクチャー Visiting環境
- ユーザビリティ
- 安全管理措置に関する要件
- 情報提供一覧表
- 審査 (※別途検討)

- データ連携の全体モデルの作成
- 各DBのデータ項目・標準コード・連結ID等の整理
- 公的DB、民間DB等のアーキテクチャの整理
- 標準コードの管理・付与に関する課題
- データマスター (ID) の整理
- 医療機関等のデータ入力・提出に係る課題
- 医療機関等に対する標準コード実装の推奨
- 情報基盤・解析基盤の技術的要件の整理
- 情報連携基盤のアーキテクチャの策定
- 公的DBとの接続要件
- 民間DBとの接続要件 (及び資格認定)
- 利活用者端末との接続要件 (及び資格認定)
- 情報連携基盤から各DBへのアクセス環境の検討 (DaaS環境、VPN接続を介したVisiting環境)
- Visiting環境及びクラウド環境 (DaaS) の要件
- 利活用者のVisiting解析環境への接続要件
- ポータル等のユーザビリティ要件
- 認証方法の要件 (二要素認証)
- ログ記録・保存・管理の要件
- 暗号化の要件 (IPsec等)
- 安全管理措置 (保護措置) の整理
- インシデント発生時の対応策の整理
- 医療等情報提供一覧表 (データ一覧) の整理
- 利用者の申請、契約及びアクセス権付与の方法
- 審査委員会の審査体制、審査項目、手続きの策定
- 利活用申請書のフォーマット様式の策定



※DaaS (Data as a Service) : ネットワーク接続を介してクラウド上のデータストレージ、統合、処理、分析サービスを提供するデータ管理サービス

※医療等情報: 健康・医療・介護等に関する患者情報を含む医療等情報を含むデータ全般を想定

※医療機関等: 病院、一般診療所、歯科診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護事業者、医療情報連携ネットワーク運営事業者等を想定

※利活用者: 企業 (製薬メーカー、医療機器メーカー等)、研究機関 (大学等)、行政機関 (地方公共団体) 等を想定